



名所絵とは…
日本各地の名ある所を
描いた絵のこと

11/9
FRI

→ 12/19
WED

心の風景 「名所絵の世界」展

国宝 雪舟《天橋立図》※11月25日まで特別展示

雪舟はじめ狩野派・応挙らの
絵師によって描かれた
日本人の心に刻まれた風景
—名所絵の世界

関連イベント

特別講演会 ※講堂にて、聴講無料、申込不要

- 11月18日(日)14:00~15:30
「名所絵と旅と風景」
講師：鈴木廣之氏(東京学芸大学教授)
- 11月23日(金・祝)14:00~15:30
「名所から景観へ-京都東山をめぐる考察-」
講師：並木誠士氏(京都工芸繊維大学大学院教授)

風景連続フォーラム・作家に聞く

※講堂にて、聴講無料、申込不要

- 11月11日(日)14:00~15:30
「風景-視線の双方向性- 絵画
… 自作に沿って」
講師：母袋俊也氏(画家、東京造形大学教授)

鑑賞講座 ※講堂にて、聴講無料、申込不要

- 12月9日(日)14:00~15:00
「名所絵の世界」講師：飯田 真(当館学芸課長)

学芸員によるフロアレクチャー(作品解説)
※展示室にて、観覧料が必要です

- 11月25日(日)、12月2日(日)14:00~

グループ紹介 第4回/草薙ツアーグループ 追跡①

美術館ボランティアの様々なグループを紹介しているこのコーナー、今回は第1回にご紹介した草薙ツアーGの、好評だった先日のイベントについての報告です。

こんにちは、草薙ツアーグループです。お元気ですか？
私たちグループは、去る9月14日、大正シック展にあわせ、『大正シック展鑑賞後、ほっと一息お茶タイム』のイベントを行いました。一般募集で集まってくださった30人の参加者は、大正シック展を学芸員さんと一緒に鑑賞後、日本茶インストラクターさんからお茶の入れ方を学びました。美術鑑賞とお茶の入れ方教室？不思議な取り合わせとお思いの方もいるでしょう。“でも、何だかいい感じ”と思っていただけで嬉しかったです。実はこの企画、財団法人緑茶協会所属の日本茶インストラクターさんと草薙ツアーとの、一年間の交流の末、実現にこぎつけたものなのです。



◆親子で仲良く



◆外国の方もお着物お似合いですね!

当日の参加者の顔ぶれは、年齢層も3歳から87歳と幅広く、アメリカ人、カナダ人など国際色も豊かで、家族連れ、お着物をお召しの方など、本当に様々な方が集まってくださいました。まだ残暑厳しい頃でしたが、終始和気あいあいで、貴重な交流も出来、楽しい時間を過ごすことができました。

サポーターの皆様、またの機会にぜひご参加くださいね！



廊くんが行く!

Let's explore KUSANAGI!

今回から始まるシリーズは、美術館のお隣元とも言える草薙界隈にあり、何かと美術館広報に協力して下さっているお店を訪ねて取材し、皆さんにご紹介する、いわば草薙ウォッチングです。初回は、美術館通りに店を構えて19年、美容師歴50年というマダム稲葉が経営する美容室ローレン。長い間美術館を応援してくださいましたが、残念なことに今年いっぱいでの閉店が決まっています。

「美術館通りのアートな美容室 LOREN」

LORENの扉を開けるとピアノの上に置いてある県美のチラシがまず目にとびこんでくる。その奥には欧州のアンティークをイメージしたアートな空間。

1986年に静岡県美が開館し、美術館通りとなったこの場所に店舗の話があった時は嬉しくて飛びついたわ。倉庫のようなここを内装から全て自分で揃えていったのよと語るマダム稲葉の後ろにはご本人が趣味で描いているという絵がかけられている。今、彼女には、時間をかけて創り上げたここを失ってでもやりたいことがあるという。イギリスに留学するのが夢だったの。語る瞳の奥に情熱の炎がちりちりしている。やりたいことをやって自由に生きてきたのよ。失うものなんて何もないわ。自分の人生なんですもの。いい仕事をするにはね、まず自分を大事にすること。1年は語学をしっかりとやって、美容の学校へも通うつもりよ。その後はスケッチブック抱えてヨーロッパを放浪したいわと少女のような顔をして軽々と言い放つ。そして戻ってきたら県美で個展をやりたいわ。いつも抽選ではずれちゃうのよねとちよっぴり悔しそうだ。 ※すでにオーストラリアで初個展、銀座の画廊でチャリティー展を行っているとのこと

稲葉さん、20年間静岡県美を応援し、見守ってくださり本当にありがとうございます。美への追究は県美も稲葉さんもまだまだ続いて行きます。



◆アートなヴィを描きつづける異邦人